

明治大学 vs 国士舘大学

10月13日(日)
11:30K.O.
足利

首位の専大を相手に好ゲームを展開。先制点を奪うことにも成功した明大だったが、後半39分に失点して勝点2を失ってしまった。

「負けに等しい試合になってしまった。悔しい」と、神川明彦監督も厳しい表情。

確かに悔しい敗戦だが、明大が確実に成長していることをうかがわせる試合でもあった。代表選出のため選手がそろわない中でも、しっかりと戦っていただけに、これを勝点3に結びつけたい。

「全部を上げていかなければいけない。国士大は後半戦一番強いチーム。劣勢が予想されるが、今、明大はやり直している段階。体を張って、どんな形でもいいから勝点3をもぎ取れるようにやるだけ」(神川監督)

「いい試合ができた。流経大を相手に勝点3を挙げられたことは大きい」

こう笑顔を浮かべたのは、国士大・細田三二監督だ。これで後半戦負けなし(4勝2分)と快調に飛ばしている。何より、選手たちが自信を持っている。

「相手のハイボールに対してのセカンドボールのところで少しずれがあったが、後半に修正できた」(細田監督)というように少し不安定な部分があっても、それを試

合の中で修正するだけの能力が今の国士大にはある。一方で、

「点を取ってからの展開がいいときは問題ないが、どうしても相手に引っかかってしまうところがある」(細田監督)

さらに上を目指す構えだ。

「明大には前半戦で負けているのでしっかりと勝ちたい」(細田監督)

警告3回：平松宗(国士大)

前回の対戦：明大2-1(シュート数10-6)国士大

明大		国士大	
5. 小川	27. 石原	26. 佐々木	2. 石川
14. 松藤	22. 藤本	10. 新村	3. 吉田
16. 差波		7. 橋本	
1. 三浦		1. 小澤	
6. 水野		33. 池ヶ谷	
4. 小出	28. 矢島	16. 平松	4. 今瀬
12. 室屋	18. 秦	14. 進藤	22. 藤寄

日本体育大学 vs 慶應義塾大学

10月13日(日)
13:50K.O.
足利

後半戦、まったく元気のない日体大だが、ようやくメンバーが戻ってきている。ここからしっかりと戦って、何とか勝点に結びつけていきたいところだ。

前節は早大を相手に前半21分までに2点のリードを奪ったが、ここからがしかなかった。

「前半終了間際の失点で、選手が消極的な気持ちになってしまった。早大の戦略に引っかかってしまって、後半開始直後に得点を決められてしまったが、同点になってからは粘ってプレーできた」(倉又寿雄監督)

確かに、後半戦スタート時に比べると粘り強さが出てきている。

「後半からは前線でボールを収められる時間が少なくなりました。早大のプレッシャーに負けている部分があったので、次節までには改善したい」(倉又監督)

連敗している中でも下を向くことなく、自信を持って一戦一戦を大事に戦いたい。

後半戦、まったく元気のない慶大。前節も中大に1-6の大敗。とにかくディフェンス陣が安定しないだけに、どう修正するのが課題だ。

リーグ当初はマンツーマンで臨んでいたが、途中からゾーンに変更。それでも失点は止まらない。前節の中大

戦は前半35分に退場者を出すというアクシデントもあったが、それでも6失点は取られすぎ。メンバーを変更したり手を尽くしているが、なかなかそれが勝点に結びつかない状況が続いている。

ただ、後半は少しリズムを取り戻しただけに、「後半は光明が見えた」(須田芳正監督)

これを勝点にどう結びつけていくか。

出場停止：梅村徹(日体大)、望月大知(慶大)

警告3回：北脇健慈、宮内啓汰(以上日体大)、松下純土、溝淵雄志(以上慶大)

前回の対戦：日体大1-2(シュート数9-6)慶大

日体大		慶大	
2. 宮内	15. 阿部	25. 宮地	19. 溝淵
5. 中西	11. 北脇		22. 久保
6. 石井		7. 淡野	
21. 大野		20. 端山	33. 小比賀
10. 稲垣		8. 松下	
4. 菊地	14. 長谷川		4. 保田
13. 川田	26. 藤井	14. 川汰	5. 増田

※布陣は前節のメンバーを参考にした予想

JR東日本カップ 2013 第87回関東大学サッカーリーグ戦



OFFICIAL MATCHDAY PROGRAM

VOL.25-NO.16 Division1



編集：加茂郁実 発行：関東大学サッカー連盟 協力：関東大学サッカーサポーターズクラブ

早大が首位・専大との勝点差を5に縮める!

残り7節となった「JR東日本カップ2013 第87回関東大学サッカーリーグ戦」。優勝争い、インカレ出場権争い、そして残留争いは熾烈を極めていく。まず、優勝争いで一歩リードしている専大だが、調子が戻ってきた明大と対戦。前半21分に先制点を奪った明大がリズムを握っていたが、後半39分に専大がゴールを決めて1-1の引き分けに持ち込んだ。

専大を追う早大は、後半戦元気がない日体大との対戦。あとながら日体大は前半21分までに2点をリードしたが、前半のアディショナルタイムに早大が1点差に詰め寄せると、後半にも2ゴールを決めて3-2と逆転勝利を収めた。日体大の長いトンネルはまだ続く。

後半戦、なかなか勝ち星に恵まれない桐蔭大と、好調・筑波大のゲーム。筑波大が前半だけで3点をリードし、後半にも1点を重ね4-1で勝利を収めた。桐蔭大は不調から脱しきれない。

試合を優位に進めながら勝ちきれない中大と、後半戦勝ち星がない慶大の一戦は、中大が前半13分のゴールを皮切りに6ゴール。慶大も後半38分に1点を奪ったが、1-6の大敗を喫してしまった。

流経大と後半戦絶好調の国士大。国士大が2-1で流経大を下し、後半戦4

得点ランキング

仲川 輝人(専大)	12点
長澤 和輝(専大)	8点
榎本 大希(早大)	8点
坪井 秀斗(桐蔭大)	7点
和泉 竜司(明大)	7点

アシストラランキング

橋本 拓門(国士大)	5アシスト
井村 雄大(順大)	4アシスト
砂川優太郎(中大)	4アシスト
仲川 輝人(専大)	4アシスト
北爪 健吾(専大)	4アシスト
榎本 大希(早大)	4アシスト
中野 嘉大(筑波大)	4アシスト
三竿 雄斗(早大)	4アシスト

勝目を挙げた。流経大は互角の戦いを見せたが、勝点に結びつかなかった。

順大と最下位・東洋大の一戦は、東洋大が開始4分にPKからゴールを奪うと、後半17分にも2点目をゲット。順大もアディショナルタイム3分にゴールを奪ったが、2-1で東洋大が勝利。残留争いから抜け出そうと必死だ。

首位・専大と2位・早大の勝点差は5に縮まり、熾烈な戦いが続きそう。一方、インカレ出場権争いも混戦となっている。今後もリーグ戦から目が離せない!

JR東日本カップ 2013 [第87回] 関東大学サッカーリーグ戦 星取表

第10節、慶大 vs 筑波大が10月23日に延期したため暫定順位

順位	チーム名	専大	早大	明大	筑波大	中大	桐蔭大	国士大	流経大	順大	日体大	東洋大	慶大	試合数	勝	分	負	得点	失点	得失差	勝点
1	専大		201	401	201	502	602	201	203	201	111	301	601	15	11	2	2	40	19	21	35
2	早大	102		111	112	111	111	111	111	111	111	111	111	15	9	3	3	24	18	6	30
3	明大	104	102		111	111	111	111	111	111	111	111	111	15	6	5	4	24	20	4	23
4	筑波大	102	001	010		111	111	111	111	111	111	111	111	14	6	4	4	26	19	7	22
5	中大	205	102	301	200		111	111	111	111	111	111	111	15	6	4	5	24	18	6	22
6	桐蔭大	206	111	203	001	111		111	111	111	111	111	111	15	6	2	7	23	26	-3	20
7	国士大	102	102	102	201	201	001		111	111	111	111	111	15	6	2	7	21	24	-3	20
8	流経大	302	003	010	111	010	103	111		111	111	111	111	15	5	5	5	16	19	-3	20
9	順大	102	100	104	103	002	203	500	010		111	212	602	15	5	3	7	27	24	3	18
10	日体大	111	111	010	203	100	001	100	200	111		111	111	15	4	4	7	17	23	-6	16
11	東洋大	103	001	100	515	111	201	102	001	212	103		102	15	3	3	9	22	30	-8	12
12	慶大	106	102	212	慶大G	001	102	302	103	206	201	201		14	3	1	10	17	41	-24	10

体育会学生のための
リクナビ就職エージェント

ゴールは、自分の中にある。

部活と就活にエールを送る! 体育会学生のための「リクナビ就職エージェント」
http://job.rikunabi.com/agent/athlete/info02/

中央大学 vs 東洋大学

10月12日(土)
11:30K.O.
ひたちなか

後半戦に入り、試合は自分たちのリズムで進めながら、なかなか勝点に結びつかなかった中大。しかし、前節は慶大を6-1の大勝で下した。

「慶大戦では前へ、前へという姿勢が出せたと思う。この勝利が一つのキッカケになればいいと思う」（白須真介監督）

14節の順大戦では先制点を奪いながらも守りに入ってしまい、ずるずるとラインが下がってしまったが、この日は2点目、3点目としっかりとゴールを重ねたのが大きかった。前半35分に相手選手が退場となったが、それでも手を緩めることなく戦った。後半にPKから1失点したのは反省点だが、守備でも積極的に前へ出て行っていただけに、この内容なら簡単には負けないだろう。「90分前にいくサッカーができた。これを続けていきたい」（白須監督）

後半戦もなかなか勝ちきれず、最下位に沈んでいた東洋大だが、前節の順大戦は2-1で勝利を収めた。

ここにきて、考え方を少し変更。

「これまでは内容を求めながら、結果も求めてやってきた。その結果、いい内容の試合ができていながらも、結果につながっていなかった。割りきりながら勝点を取る

ことを優先してやっていかないと、この先は厳しいということを選手に話したが、そういう試合になった。それが勝点3につながったし、それがすべて」（古川毅監督）

やや守備を重視してのサッカーに切り替えざるを得なくなったが、それが功を奏して順大戦は1失点。今後、このサッカーがベースになることは間違いがない。勢いに乗っている中大を、しっかりと抑えることができるか。

出場停止：内田祐介（中大）

警告3回：岡崎亮平、小出啓太、細見諒（以上中大）

前回の対戦：中大1-1（シュート数9-8）東洋大

中大		東洋大	
6. 高瀬	10. 澤田	29. 仙頭	7. 馬渡
12. 小出		11. 黒須	12. 内田
4. 細見			10. 桑田
1. シュミット	25. 渋谷	19. 皆川	22. 沖野
8. 田辺			6. 石川
5. 木村		32. 遊馬	16. 筑井
13. 鈴木	7. 砂川	14. 平石	24. 村田

桐蔭横浜大学 vs 順天堂大学

10月12日(土)
11:30K.O.
流経大G

筑波大に1-4で敗戦を喫した桐蔭大。後半戦の序盤は調子よかったが、ここにきて3連敗と苦しい状況に陥っている。

「開始直後にPKを取られてしまったので、スタートの部分から筑波大相手に厳しい試合になってしまった」（八城修監督）

前半3分、14分、32分と立て続けに失点。その後、何とか立て直そうという意識は見られたが、なかなか得点に結びつかなかった。

「ゲームの開始で先制点を与えたのは反省点。先制点を与えないこと、ゴールにつながるプレーの精度を見直さなければ、得点、結果にはつながらない」（八城監督）

チャンスは作っていたが、それが得点につながらなかったのも今後の課題。連敗を脱出できるかどうか。「これではダメ」

と東洋大戦終了後に一言語り、厳しい表情を見せたのは順大の吉村雅文監督だ。

前半4分にPKから失点してしまったのは致し方ないとしても、その後の戦い方が問題だった。

「守備の部分がベースなのに、攻め急いってしまった。自分たちが何をしなければいけないのか、まったく理解し

ていなかった」（吉村監督）

どうしても早く同点に追いつきたい、逆転したいという気持ちからチーム全体のバランスが崩れ、攻撃も理想とした形にならなかった。

「考え直さなければいけない」（吉村監督）

途中からは意図のないロングボールが多くなり、淡泊なゲームになってしまっただけに、修正が急務だ。

警告3回：福島翔太郎、古澤慶太、山根視来（以上桐蔭大）、宮本和輝（順大）

前回の対戦：桐蔭大3-2（シュート数10-5）順大

桐蔭大		順大	
16. 長谷	11. 山根	10. 井村	16. 吉永
6. 福島			3. 清水
	35. 大野		6. 岡崎
1. 島崎	7. 平山	20. 今関	11. 原田
	9. 大泉		8. 天野
			1. 川口
4. 古澤			15. 青木
			13. 宮本
18. 剣	8. 山崎	7. 和田	12. 友澤

早稲田大学 vs 筑波大学

10月12日(土)
13:50K.O.
ひたちなか

日体大を逆転で下して、首位・専大との差を5に縮めた早大。ただ、

「前半に2失点したのは、相手にプレッシャーをかけることができず、スペースを与えてしまったから。そこを改善しなければ優勝に届かないと、あらためて感じた」（古賀聡監督）

逆転できたからよかったものの、この内容では今後も厳しい戦いが続くことになる。2点ビハインドも、逆転できるだけの力を持っているのだから、自信を持ちたい。「ぶれずに、最後まで自分たちの強みを信じて戦い抜けたことはよかった。守備のベースを高めて、自分たちの強みであるボールを奪うところをさらに追求していきたい」（古賀監督）

一戦一戦、負けられない戦いが続くが、

「筑波大は非常に攻撃的に能力の高い選手がそろっている」（古賀監督）

その筑波大から、しっかりとボールを奪えるか。

桐蔭大を4-1で下し、後半戦4勝目を挙げた筑波大。好調をキープしているが、今節は2位・早大との対戦。ここからが正念場だ。

桐蔭大戦は前半3分にPKから先制点を奪い、余裕の

ある試合展開に持ち込めたが、

「相手が積極的にきたときに、もう少しうまく対処できるようにっていかなければならない。厳しい試合になったときでもうまく戦えるようにならないと、これから先、もっと厳しくなってくると思う」（中山雅雄監督）

後半戦は自分たちの戦いに自信を持っている。早大を破って、一気に上昇気流に乗れるか!?

警告3回：池西希、中田航平（以上早大）、上村岬、車屋紳太郎、谷口彰悟、中野嘉大、若杉拓哉（以上筑波大）

前回の対戦：早大1-0（シュート数3-4）筑波大

早大		筑波大	
6. 三竿	8. 近藤洋	11. 中野	18. 早川
3. 金沢	10. 榎本		17. 西村
	5. 池西		2. 田代
1. 松澤		19. 若杉	8. 玉城
	4. 中田		1. 神舎
			7. 葺本
2. 奥山	25. 宮本		5. 車屋
26. 西山	7. 近藤貴	10. 上村	12. 三丸

専修大学 vs 流通経済大学

10月12日(土)
13:50K.O.
流経大G

前節の明大戦は1-1のドローに終わった専大。攻守にかみ合っていないシーンが見られたが、

「勝点1を取ることができてよかった。この勝点1が後々大切になってくる」（源平貴久監督）

土壇場の後半39分に同点に追いついただけに、粘り強さは健在だが、チームの台所事情は苦しい。

「ケガ人がこれだけ多い中でも、他のメンバーで失点を1に抑えることができてよかった」（源平監督）

体調不良の選手も出るなど、メンバー構成に四苦八苦している状況だが、その中でも何とか勝点を積み重ねている。

「早くケガ人を復帰させたい」（源平監督）

メンバーが戻ってくれば、もっと戦えるといった状況だが……。

「攻撃を最後までつなげることがうちのチームの課題なので、そこをしっかりとやって次の試合に臨みたい」（源平監督）

後半戦、粘り強い戦いを続けている流経大だが、前節は好調の国士大を相手に1-2の敗戦。

「ウチはよくも悪くもなかったが、国士大の勢いにやられてしまった」（中野雄二監督）

夏の王者・流経大をもってしても、今の国士大をストップすることはできなかった。

「球際には厳しくいけた」（中野監督）

というように決して悪い内容ではなく、チャンスも作り、流経大らしさも随所に見せたが決めきれず、勝利をモノにできなかった。今節は首位・専大との対戦。

「専大はこのリーグで間違いなく一番強いチーム。いいゲームをしたい」（中野監督）

警告3回：前澤甲気（専大）

前回の対戦：専大2-3（シュート数9-19）流経大

専大		流経大	
38. 飯田		7. 中山	4. 有賀
	18. 東	27. 藤山	5. 川崎
44. 中村			6. 富田
	26. 野田		
16. 奥山	13. 北出	7. 長澤	1. 八巻
	14. 星野		25. 古波津
3. 萩間	10. 仲川	18. 田上	28. 藤原
2. 北爪		14. 西谷	29. 橋本